

学会便り 第134回春期大会報告

第24回「女性会員の会」報告

The 24th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

関 史江*

Fumie SEKI*

第134回春期大会中、熊本大学黒髪南キャンパスで、5月26日(土)12:10~13:10入退室自由の、第24回女性会員の会を開催しました。参加者は合計19名(女性14名、男性5名)。お弁当と、地域銘菓をいただきながら楽しく懇談しました。熊本・九州銘菓：いきなり団子、唐芋レアケーキ、くまモンクッキー、黒糖ドーナツ棒、昭君の月、誉れの陣太鼓、松風、武者がえし。鳩サブレ(差入：内川和子さん)、カンントリーマアム(差入：上田 薫さん)。本会と同時に、懇親会時間帯も含め、学会託児室を設置しましたが、利用はありませんでした。

今回、チラシ「女性会員の会」見学のおすすめ、を配布しました。性別・年齢差無く、どなたの見学も歓迎します。笑い声が絶えない様子や、話の内容、どのように情報交換をしているのか、実際に見学した後、いろいろな感想・ご意見をお聞かせください。今後も、皆様の見学をお待ちします。また、見学の事前申込みにより、地元銘菓を準備します。

【自己紹介：氏名・所属、男女共同参画委員会への要望など】

平成30年4月、男女共同参画委員会が新設されたので、委員会への要望、女性会員の会との関係等を改めて伺いました。

○男女の区別無く、活発な学会を望む。軽金属学会では、女子学生が卒業後、正会員になり発表する例が増えているのが嬉しい。女性の意見と力が、発揮できるように希望します。男か女かではなく、研究者・技術者と呼ばれたい。もっと内部の声を聞いて欲しい。男性も育休取得が可能になればよい。

○来年5月、男女共同参画関係のシンポジウムを開きたい。男女共同参画委員会が、他学会より先進的な役割を果たして欲しい。日本金属学会等、他学協会と連携しながら活動して欲しい。一般に大学の研究と、卒業後の職業が繋がらない。化学系の学科では、女子学生が約1/3程度、発言者の所属企業では約1/6程度が女性と、比較的多く、入社後すぐに研究部門に配属される。化学系を参考にして、金属業界の女性研究者・技術者を増やすことを期待します。

○卒業後の話をいろいろ聞きたい(M1学生)。入社後、女性だからとの理由で、あまり困ることがなかった。女性数が少ないので、やや過保護かもしれない。同期の新入社員は、平等で仲良しだ。目的意識の高い若手女子が多いと思う。今時の若手男性は、やや弱いかもしれない。

○企業の上司に、まだまだ男女共同参画の意識や自覚が浸透



第24回女性会員の会・中締め(撮影 千野靖正先生)



第134回軽金属学会懇親会場(撮影 橋内 透様)

していない気がする。これから、若い上司が増えたら、社会が大きく変わる気がします。

○高校生向けに、軽金属業界で活躍するロールモデルとして、様々な年代の、女子学生・院生、女性研究者・技術者達の経験談を紹介したい。

◎軽金属学会では、学生会員の10%は女子学生、正会員の4%が女性正会員です。軽金属業界が、卒業後の優秀な女子学生達の受皿になるよう希望します。

最後に、大会実行委員長の河村能人先生始め大会実行委員会のご配慮と、力強い応援会員の皆様に改めて感謝いたします。

世話人：関 史江、小原美良、上田 薫、大島智子
軽金属学会「女性会員の会」の歴史は下記をご覧ください。
<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>

*元東京大学、現ATEX_FUMI技術アドバイザー(東京都国立市)
受付日：平成30年6月8日